



ニュースリリース

2015年 3月19日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

## 北九州市との「国際技術協力等に関する包括連携協定」の締結について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 高橋 誠、本社：東京都品川区）は、北九州市（市長 北橋健治）と、海外における環境・エネルギー問題の解決に連携して取り組むため、国際技術協力に関する包括連携協定を締結致しましたので、下記の通り、お知らせ致します。本協定は、当社にとりまして自治体との初の連携協定となります。

現在、アジア各国では、人口の増加や経済成長に伴い、大量消費による廃棄物の増大、温室効果ガス排出量の増加や環境汚染への対応が喫緊の課題となっています。当社は、廃棄物の処理やリサイクル、土壌・地下水浄化、省エネルギー、温室効果ガス削減など、低炭素化・資源循環型社会の実現と発展に資する各種技術を保有するとともに、それらを実施するプロジェクト・マネジメントに係るノウハウを蓄積しており、これら技術やノウハウを積極的に海外で活用・展開しております。

北九州市は、日本の高度経済成長の過程で発生した大気汚染や水質汚濁をはじめとする公害問題に先進的な手法で取り組むことで、これを克服してきましたが、近年では、アジア低炭素化センターを開設し、こうした経験・知見を活かして廃棄物・リサイクルや上下水道、エネルギー分野などでの国際技術協力に加え、まちづくりの要素を盛り込んだ「グリーンシティ輸出」を推進しています。また、経済協力開発機構（OECD）が取り組む「グリーンシティ・プログラム」において、グリーン成長都市の1つとしてアジアで初めて選定されるなど、国際的な「環境先進都市」として海外を舞台に積極的な活動と情報発信を展開しています。

当社は、本協定の締結により、保有する環境・エネルギー関連技術とプロジェクト・マネジメント力に、北九州市の持つアジア諸都市との強いネットワークやエコタウンをはじめとするまちづくりのノウハウを併せることで、アジア地域での新たなプロジェクトの創出や効果的な技術輸出を図り、低炭素化・資源循環型社会の実現と発展にさらに貢献していきたいと考えております。

### 【連携内容】

- ① 双方は、環境・エネルギー分野において、アジア地域での新たなプロジェクトの創出や効果的な技術輸出を図るため、環境技術や現地情報などに関する積極的な情報交換を行う。
- ② アジア低炭素化センターとの連携により、新日鉄住金エンジニアリング(株)が取り組むプロジェクトの推進にあたって、双方はそれぞれの窓口を定め、案件の形成からプロジェクトのマネジメントに至るまで、相互に協力する。
- ③ 双方は、アジア地域での環境・エネルギービジネスの拡大・深化を図るため、新しいビジネスモデルの形成や総合パッケージ輸出のあり方などについて、調査・研究する。



【締結式での北橋 北九州市長と高橋 当社社長（3/19 午前：北九州市役所記者会見室）】

[お問い合わせ先]

経営企画部広報室 03-6665-2366

以上